

電子黒板とデジタル教科書

～フューチャースクール2年目の挑戦②～

H23.8.25

校長 堀 達司

夏休みも終わりに近づきました。できた宿題を抱えて元気に登校する子どもたちを迎え、うれしく思います。

さて、今回は「電子黒板」と「デジタル教科書」について紹介します。

電子黒板とは50インチのデジタルテレビとコンピュータの画面が同居し、画面にペンで字や線を書くことができる機器です。見た目は50インチのテレビと同じようです。

コンピュータ画面では画面をペンでタッチすると画面が切り替わるなど、パソコンのマウスの代わりもします。

子どもたちがこの電子黒板を操作して発表することとても上手になってきました。電子黒板は映像や画像を映し出すだけでなく、児童のノートなどを大きく写すなど様々な場面で利用します。とても便利で多くの教科でよく活用しますが、これまでの黒板が必要がないわけではありません。どちらも「よさ」を活かしながら活用しています。

次に、「デジタル教科書」です。教科書といっても指導者用教科書といって、子どもが持つタブレットパソコンの中に入っているものではありません。

50インチの電子黒板の中に入っているもので、主に指導用に使っています。

さて、これを使うと、どのような学習効果があるのでしょうか。

電子黒板に自分が見ている教科書の同じページが大写しになっていることを想像してください。先生が大切なところに赤ペンで線を引きます。たったこれだけでとても大きな効果



果があります。これだけでどこが大切なのか児童にはすぐに分かります。これまでは、何ページの何行目と言ってから、さらにそこを読み、大切な場所を確認してきました。うまく確認できない児童は分からないまま次の言葉が流れてきて、混乱したまま授業が続く場合もあります。しかし、映し出された教科書はそのまま残り、いつでも正確に場所を確認できます。

この、機能だけでも学習効果がありますが、そのほかにもデジタル教科の中には動画が組み込まれていたり、アニメーションが入っていたりして児童の理解を助ける仕掛けがたくさんあります。

6月の参観日でもこのデジタル教科書を使った授業をご覧になった方もいらっしゃると思います。これからの参観日も少し注目していただき、ICT活用のすばらしさを感じていただけたらうれしく思います。

